

芝浦工業大学 交換留学プログラム 参加後アンケート

海外派遣プログラムに参加したみなさまに、海外での経験を今後の学生に共有していただくため下記アンケートの記載をお願いしています。
記載いただいた内容は、芝浦工業大学のWebサイトやパンフレットに掲載いただくことがありますので、その前提でご記入をお願いします。
「留学するかどうか、もしくは留学先をどこにするか等、判断を迷っている後輩向け」という視点で記入をお願いいたします。

留学者情報			
・ 学部	建築学部		
・ 学科(コース等)	建築学科 (APコース)		
・ 学年(渡航開始時)	3年		
・ ウェブ等への体験談掲載への同意	☐ 氏名も掲載してよい ☒ 学部・学科まで掲載してよい ☐ 完全匿名での掲載を希望		

留学先情報			
・ 渡航型/オンライン型	☒ 渡航型 ☐ オンライン型		
・ プログラムタイプ	☒ 授業履修型 ☐ 研究室配属型		
・ 国・地域名	スペイン		
・ 都市名	バルセロナ		
・ 留学先大学名	ラモンリェイ大学		
・ 留学期間	☐ 3ヶ月未満 ☐ 3ヶ月～半年（1セメスター程度） ☒ 半年～1年（2セメスター程度）		
・ プログラム期間	プログラム開始時期 (2024年9月上旬等)	2024/9/10	プログラム終了時期 (2025年7月上旬等)
・ 留学時期 (主に留学をしていた時期にチェック をお願いします)	☐ 1年前期 ☐ 修士1年前期 ☐ 1年後期 ☐ 修士1年後期 ☐ 2年前期 ☐ 修士2年前期 ☐ 2年後期 ☐ 修士2年後期 ☐ 3年前期 ☐ 博士以上 ☒ 3年後期 ☒ 4年前期 ☐ 4年後期		
・ 上記協定校を志願した理由を教えてください。	スペインのバルセロナという土地は、歴史的建築から現代建築まで幅広い作品が共存する都市であり、実際に空間を体験することで日本での学びとは異なる知識を得られると思ったからです。また、建築や都市を学ぶ上で文化的背景への理解は欠かせないと思い、以前から興味を持っていたラテンの国であるスペインの生活や文化にも触れたいと考えたからです。		
・ (研究室配属型のみご回答ください) 受入大学の指導教員をどのように探したか教えてください。 (SIT指導教員の紹介等)			

留学中の学籍について	
・ 休学の有無	☒ 休学をした ☐ 休学しなかった
・ 休学せずに渡航した方は、休学せずに渡航できた理由を記載ください。 (留学が必須の学科だった、必修科目が渡航時期になく単位も十分に取得しており、かつ指導教員の許可も得られ、就活前に帰国することができたため、等)	

留学先での学習・研究状況

- 留学先での学習・研究状況につき、概要を記載してください。

私の留学先の大学では、建築専攻が5年制で、研究室のような制度は設けられておらず、本学から留学していた大学院生の先輩方と同様に、プロジェクト形式の授業を履修する必要がありました。授業の水準が非常に高く、1セメスターに1つのプロジェクト授業を履修するのが精一杯でした。プロジェクトは個人で進める場合とチームで取り組む場合があり、特にチームでの作業では、設計手法や建築に対する考え方がメンバーそれぞれで大きく異なるため、意見のすり合わせや共同作業の進め方に苦勞する場面も多くありました。

- 授業を履修した場合、具体的な科目の情報教えてください。（たくさん履修した場合は適宜追加して記載してください。また科目概要など、欄に収まらない場合は、適宜行の幅を大きくして記載してください。）

科目名①	Design7	単位数 (現地単位数)	9
科目概要	本学のスタジオ演習のような設計の授業です。いくつかのユニットに分かれており、ユニット毎に設計内容は変わります。私が所属していたユニットは、対象敷地は毎学期異なり、スペイン以外の国を対象としていました。その国ごとの、風土、文化を活かした設計を求められるユニットでした。		

科目名②	Construction Workshop II	単位数 (現地単位数)	6
科目概要	こちらも設計の授業になります。いくつかのユニットがあり、それぞれ異なった内容の設計をしますが、Design7と比較するとよりconstructionにフォーカスした設計を求められる授業です。		

科目名③	単位数 (現地単位数)
------	----------------

科目概要

科目名④	単位数 (現地単位数)
------	----------------

科目概要

科目名⑤	単位数 (現地単位数)
------	----------------

科目概要

科目名⑥	単位数 (現地単位数)
------	----------------

科目概要

留学先での学習・研究以外の交流活動

- 交友関係、部活、サークル、日常生活などで特筆して後輩に伝えたいことを記載してください。

私の場合は履修した授業数が少なかったため大学に通う頻度も多くはなく、また、留学生の多くはErasmusプログラムの学生で、単位互換の関係から多くの授業を履修していたり、半年で帰国してしまう人も多かったため、大学内での交友関係は比較的希薄なものとなっていました。一方で、学生寮に滞在していたため、そこで友人を作ったり、ミートアップやイベントなどに参加して交流を深める機会を持つように努めました。大学外でのつながりを通して異文化への理解も深まり、日常生活の中で多くの学びがありました。

自由記述欄

- 留学で感じたこと等、自由に記載してください。（当初の留学計画を達成していたか、新たな発見があったか、どのような苦労があったか、留学前に準備しておけばよかったと振り返って感じることはあるか、後輩へのアドバイス、等なんでも結構です。）

授業面では、求められるレベルが非常に高く、自分の表現力と設計で実現したいこととの間にギャップがあり、思うように提案を伝えきれないもどかしさを感じる場面が多くありました。また、授業で教授が学生に求めている意図を読み取ることも難しく、設計経験の不足や言語の壁も相まって、非常に苦労しました。これまで日本の大学では自分なりにしっかりと学ぶことができていた分、留学先では思うように学びきれなかったことがとても悔しく、「どう学んでいくべきか」に悩むことも多かったように思います。特に留学当初のセメスターは、すでに現地に留学していた本学の大学院生の先輩方に多くのご助言やサポートをいただき、何とか乗り越えることができました。海外で暮らすことも、一人で生活することも、日常的に英語を使うこともすべて初めての経験だったため、学業面以外でも何もかもが手探りで、異国の地で一から生活を築いていかなければならず、慣れるまでにかなり時間がかかりました。特に、外に出ればすべてがスペイン語で行われており、言葉が分からないことが大きなストレスとなっていました。そのため、現地での生活に少しでも早く慣れようとスペイン語の勉強を始めました。言語に慣れるまでは、その土地に馴染めたという実感をなかなか持てませんでしたが、最終的には一人でスペイン国内を旅行できるほどにスペイン語で対応できるようになり、生活も格段に楽になりました。現地での暮らしが心地よく感じられるようになった今振り返ると、余裕があればあらかじめ現地の言葉を少しでも勉強しておくことは、非常に役に立つのではないかと思います。

留学手続き時に苦労した点

- 協定校への出願時に苦労した点や、後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など)
出願に関して特に大変だと感じたことはありませんでしたが、学部留学の際にはB2レベルの英語力の証明が求められました。そのため、TOEICやIELTSなどでそのレベルを証明できるよう、早めに準備しておくと思いいます。
- ビザ申請など、渡航準備時に苦労した点や後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など)
(渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。)
私がビザを申請した時点では、スペインでは申請時にスペインの保険会社の保険に加入しておく必要がありました。大学の保険にも加入することになるため二重加入にはなりますが、大学側から求められる保険で十分にカバーされているため、スペインの保険は最安のもので問題ありませんでした。
また、書類申請のために事前のアポイントが必要になるなど、制度や手続き、必要書類が変更されることもあるので、常に最新の情報を確認することが大切だと思います。
さらに、スペインの学生ビザは現地到着後に警察署での延長手続きが必要であり、このプロセスがかなり大変です。そのため、できる限り事前に情報収集をしておくと思いたいます。
- その他、準備にあたり、後輩にアドバイスがあれば自由に記載してください。

滞在先の宿泊施設などの情報 (渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。)

- 宿泊先のタイプを教えてください。(協定校の寮、一般のアパート、ホームステイ等)
協定校から送られてきた宿泊先リストに記載されていた学生寮に滞在しました。
- 上記宿泊先はどうやって手配しましたか？(出願時に協定校に依頼することができた、協定校から紹介してもらった、自分で探した、等)
アクセプタンスレターを受け取り正式に留学が決まると、協定校から宿泊先リストが送られてきます。
- 現地空港到着後、どうやって上記宿泊先に向かいましたか？
交通手段や所要時間を教えてください。
アクセスが不便な場所だったので、タクシーを使いました。
- 上記宿泊先から日々協定校へはどうやって通学していましたか？交通手段や所要時間を教えてください。
トラムとメトロを乗り継いで1時間ほどかかりました。
- 上記宿泊先の様子を教えてください。広さ、住み心地等。
他大学の敷地内にある学生寮で、その大学の関係者と思われる方も住んでいたため年齢層は幅広かったですが、学生も多く、全体的に落ち着いた雰囲気に住みやすかったです。

留学中の費用や奨学金等（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

概算で結構ですので、参考までに記入してください。

初期費用

内訳	金額(円換算概算)	概要
協定校へ支払った費用 (授業料、初期登録費用等あれば)	¥0	
往復航空券代(往復)	¥350,000	重量超過分も含めた金額です
海外旅行保険・危機管理費用 (全期間分)		
その他費用(ビザ申請、パスポート取得費等、英語試験受験料等)	¥25,000	IELTS受験料
計	¥375,000	

1ヶ月あたり費用

内訳	月額金額	概要
宿泊費/月	¥160,000	現地通貨で950€
食費/月	¥35,000	
その他/月	¥10,000	
計	¥205,000	

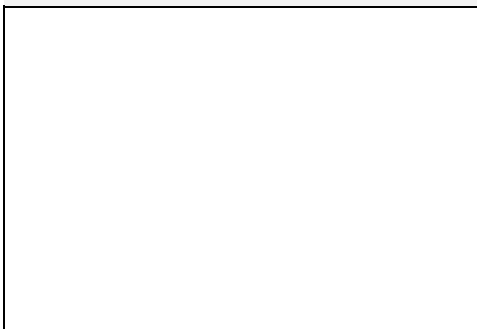
奨学金情報

奨学金名	月額金額	概要
芝浦工業大学海外留学奨学金	¥120,000	
計	¥1,080,000	

写真共有のお願い（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

留学中の様子が分かる写真を4枚ほど共有ください。またそれぞれの写真に説明分を加えて下さい。
写真はそのまま掲載しますので、掲載してもよい写真を貼り付けてください。

大学のシンボルとなる建物の写真等をお願いします



説明文

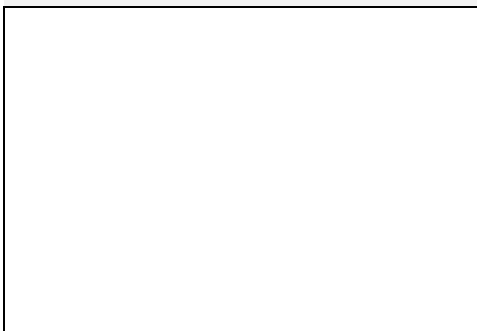
宿泊先の様子が分かる写真等をお願いします



説明文

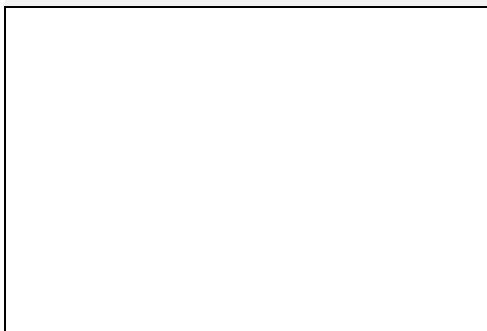
生活していたレジデンスの部屋

その他、任意の写真



説明文

その他、任意の写真



説明文

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。